

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【公開番号】特開2021-65669(P2021-65669A)

【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2021-020

【出願番号】特願2019-195704(P2019-195704)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/103(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/103

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月22日(2022.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の眼底に測定光束を投影し、前記眼底にて前記測定光束が反射された反射光束を受光することによって、前記被検眼の光学特性を他覚的に測定する測定手段を有する検眼装置であって、

前記被検眼に付加する雲霧に関する任意の雲霧パラメータを設定可能な第1設定手段と

、
前記第1設定手段により設定された前記任意の雲霧パラメータに基づいて、前記被検眼に前記雲霧を付加する雲霧手段と、

前記測定手段を制御し、前記雲霧手段により前記雲霧が付加された前記被検眼の前記光学特性を取得する取得手段と、

を備えることを特徴とする検眼装置。

【請求項2】

請求項1の検眼装置において、

前記第1設定手段は、前記雲霧パラメータとして、前記被検眼に付加する前記雲霧の量を設定可能であることを特徴とする検眼装置。

【請求項3】

請求項2の検眼装置において、

前記第1設定手段は、さらに、前記雲霧パラメータとして、前記被検眼に対して前記雲霧の付加を開始するタイミングから前記雲霧の付加が完了するタイミングまでの間における、雲霧時間と、雲霧速度と、の少なくともいずれかを設定可能であることを特徴とする検眼装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの検眼装置において、

前記被検眼に対する前記雲霧の付加が完了するタイミングから前記光学特性の取得を開始するタイミングまで間における待機時間を設定可能な第2設定手段を備え、

前記取得手段は、前記雲霧手段により前記雲霧が付加された前記被検眼の前記光学特性を、前記待機時間が経過した後に取得することを特徴とする検眼装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかの検眼装置において、

40

30

50

被検者に関する被検者情報を取得する被検者情報取得手段を備え、
前記第1設定手段は、前記被検者情報に基づいて、前記雲霧パラメータを設定すること
を特徴とする検眼装置。

【請求項6】

請求項1～5のいずれかの検眼装置において、
前記第1設定手段は、第1雲霧パラメータと、前記第1雲霧パラメータとは少なくとも
一部が異なる第2雲霧パラメータと、を設定可能とし、
前記第1設定手段により前記第1雲霧パラメータが設定される第1モードと、前記第1
設定手段により前記第2雲霧パラメータが設定される第2モードと、を切り換える切換手
段を備え、
前記雲霧手段は、前記切換手段により切り換えられたモードに応じた前記雲霧パラメー
タに基づいて、前記被検眼に前記雲霧を附加することを特徴とする検眼装置。

10

20

30

40

50